ESA の TLS 設定に関する FAQ

目次

概要

この資料は E メール セキュリティ アプライアンス（ESA）の Transport Layer Security（TLS）の設定についての FAQ を記述したものです。

TLS とは何か。

RFC 3207 で定義されるように、「TLS は、SMTP サーバとクライアントが transport-layer security を使用して、インターネット上でプライベートな認証通信を提供できるようにする SMTP サービスの拡張です。 TLS は、TCP 通信をプライバシーな認証で強化する一般的なメカニズムです」。 ESA の STARTTLS 実装は暗号化によってプライバシーを提供します。 それは認証局サービスから X.509 認証およびプライベートキーをインポートすることを可能にするか、または自己署名証明書を使用します。

何が ESA の TLS を有効に するために必要となりますか。

次のステップは TLS を有効に して必要です:

> **注:** ESA はデモ認証がテストの目的で含まれています。 デモ 証明書はセキュアでし、一般使用のために推奨されません。

詳細については ESA 認証インストール必要条件を参照して下さい。

受信のための TLS を有効に する方法か。

次のステップは ESA 公共リスナー（受信）と通信するリモートホストからの TLS を必要として必要です。 リモートホストと通信するリスナーのホスト アクセス 表（帽子）の TLS を有効に して下さい:

1. GUI に行って下さい: ポリシー > メール フロー ポリシーを郵送して下さい
2. リモートホストが Policies ページ メール フローのリスナー廃棄メニューから接続するリスナーを選択して下さい。
3. ポリシー名をクリックし、編集ポリシー ページの一番下に使用 TLS チェックボックスをチェックすることによって 1つ以上のメール フロー ポリシーの TLS を有効に して下さい。

詳細については、ESA リスナーの着信接続 暗号化のための TLS を有効に する方法を参照して下さいか。

配信のための TLS を有効に する方法か。

次のステップはリモートドメインのホストに配信のための TLS を有効に して必要です。

1. GUI に行って下さい: [Mail Policies] > [Destination Controls]
2. TLS を使用するドメインのための新しい宛先を追加して下さい
3. 同時実行制限、受信者の制限およびバウンス プロファイルを設定 するか、またはデフォルト値を受け入れて下さい。
4. ドメインの TLS 設定を加えて下さい (、、または)

詳細については、配信の I 制御 TLS ネゴシエーションがどのようにか参照して下さいか。

どのように ESA が TLS を使用していたかどうか確認できますか。

ESA メール ログは正常な、壊れる TLS 接続のためのエントリが含まれています。 特定の Log エントリを捜すのに**グレップ**のようなコマンド・ライン ツールを使用できます。 TLS 接続が GUI によって失敗するときまたシステム アラートを設定できます: システム 管理 > Alerts ページか CLI alertconfig コマンド。

詳細については、ESA が配信か受信のために TLS を使用していたかどうか確認します参照して下さい

詳細については他の MTA の電子メール ユーザガイド章暗号化通信については Cisco AsyncOS を参照して下さい。

関連情報

- **エンドユーザは電子メールのための AsyncOS をガイドします**